

4 圏域ごとの計画概要

本計画期間中に各圏域で展開する主な水産基盤整備の基本方針は以下のとおりです。

各圏域計画 重点課題	銚子圏域 総合水産基盤整備事業計画	九十九里圏域 総合水産基盤整備事業計画	外房北部圏域 総合水産基盤整備事業計画	外房南部圏域 総合水産基盤整備事業計画	内房圏域 総合水産基盤整備事業計画	東京湾圏域 総合水産基盤整備事業計画
1 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化	○銚子漁港の高度衛生化の推進と大型漁船等への対応による拠点漁港の機能強化	○片貝漁港の入出港環境の改善整備 ○片貝漁港の施設再編	○勝浦漁港の高度衛生化による品質向上・輸出促進による拠点漁港の機能強化	○水産物集約化や適正規模の施設整備による拠点漁港の機能強化	○勝山漁港の陸揚げ作業の効率化や就労環境に配慮した整備による拠点漁港の機能強化	○富津漁港、市川漁港における生産コストの削減、作業時の安全性、鮮度の保持に資する整備による拠点漁港の機能強化
2 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保	○銚子漁港の岸壁耐震化 ○予防保全による施設の長寿命化（銚子漁港、外川漁港）	○予防保全による施設の長寿命化（飯岡漁港、片貝漁港）	○予防保全による施設の長寿命化（勝浦漁港、大原漁港、太東漁港、鶴原漁港）	○鴨川漁港における施設の耐震強化 ○予防保全による施設の長寿命化（小湊漁港、天津漁港、和田漁港、千倉漁港、乙浜漁港、浜荻漁港、浜名太漁港）	○予防保全による施設の長寿命化（船形漁港、下原漁港、保田漁港）	○予防保全による施設の長寿命化（富津漁港、大貫漁港、金田漁港、市川漁港）
	○外川工区における漁場整備（魚礁）	○四天木2工区における漁場整備（魚礁）	○「藻場の保全・回復に向けた取組指針」に基づく藻場の保全・回復の取組とモニタリングによる持続可能な漁業生産の確保	○「藻場の保全・回復に向けた取組指針」に基づく藻場の保全・回復の取組とモニタリングによる持続可能な漁業生産の確保	○富山工区における漁場整備（魚礁）による持続可能な漁業生産の確保（効果調査） ○「藻場の保全・回復に向けた取組指針」に基づく藻場の保全・回復の取組とモニタリングによる持続可能な漁業生産の確保 ○勝山漁港の整備による良好な港内養殖環境の創出（再掲）	○富津市地域、木更津市地域ノリの養殖生産拠点の形成 ○東京湾干潟漁場再生方針（仮）の策定と干潟漁場の整備による漁業生産の確保
3 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上	○漁港に設置される次の施設の活用や取組を推進 ・直営食堂（まいわい）、直販施設（ウォッセ21） ・プレジャーボート係留施設、遊漁船等	○漁港に設置される次の施設の活用や取組を推進 ・海の駅九十九里、直販施設（九十九里漁協おさかな親善大使） ・サーフィン、遊漁船等	○漁港に設置される次の施設の活用や取組を推進 ・直営食堂（いさばや）、直販施設（新勝浦市漁協）、港の朝市（大原漁港） ・アワビの陸上養殖（岩船漁港） ・遊漁船、ダイビング、サーフィン等	○漁港に設置される次の施設の活用や取組を推進 ・直販施設（海市場、小湊ウオポート）、定期的な朝市等の実施（千倉漁港） ・ダイビング、遊漁船、プレジャーボート係留施設、魅力体験広場（鴨川漁港）等	○漁港に設置される次の施設の活用や取組を推進 ・直営食堂（ばんや、なぶら、おさかな倶楽部、網納屋、相浜亭、道の駅等）、直販施設（大漁市場等） ・滞在型観光施設、遊漁船、釣り筏、観光地引網、ダイビング、プレジャーボート係留施設等	○漁港に設置される次の施設の活用や取組を推進 ・直営食堂（金田浜っこ等）、直販施設（海ほたる、船橋みなとや等） ・泊地を利用したナマコの増殖（富津漁港） ・潮干狩り、すだて、カヤック、遊漁船等
その他	○漁業と調和のとれた洋上風力発電事業への調整					

※1: 上記1～3は、漁港漁場整備に係る国の基本計画「漁港漁場整備長期計画（R4～R8）」に掲げられた重点課題であり、本県の各圏域計画では、同重点課題に対応する形で、水産基盤整備の基本方針を定めている。

※2: 各圏域の「圏域総合水産基盤整備事業計画」全文は千葉県ホームページをご覧ください。 <https://www.pref.chiba.jp/gyokou/kenniki/kennikikeikaku.html>